



# Airport Ground Power



Power Supply Business



Maintenance Business



Supplementary Equipment Business

## 第50期 第2四半期のご報告 IR ハンドブック

[平成26年4月1日～平成26年9月30日]

### Topics

- | 植物工場事業が着々と進捗
- | 病院・福祉設備機器専門展に出展

# 株主の皆さまへ



代表取締役社長

山口 栄一

エージーピー  グループ理念

社会から信頼を受ける会社を目指し、  
社会の繁栄と地球環境の浄化保全に貢献する

商号「エージーピー」

**Airport Ground Power**

旧商号「日本空港動力株式会社」(1965～2000年)の英語名 **Japan Airport Ground Power** の頭文字をとったものです。空港で専門能力を発揮する一方、空港外でも積極的に事業を拡大する姿勢を表しています。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、このところ弱さがみられますが、緩やかな回復基調が続いています。また、先行きについては、当面弱さが残るものの、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されています。航空業界は、訪日旅客の増加等により堅調に推移しているなかで、大手航空会社によるネットワークの拡充、国内マーケットに定着した本邦LCCのシェア拡大、チャーター便の就航増など、競争環境が激化しています。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1億39百万円(2.7%)減の50億円となりました。

営業費用につきましては、整備事業、付帯事業の原材料費が減少したものの、羽田空港における国際線地区再拡張に伴う減価償却費が増加したこと等により、前年同期比41百万円(0.9%)増の47億71百万円となりました。この結果、営業利益は前年同期比1億81百万円(44.1%)減の2億29百万円、経常利益は、前年同期比1億97百万円(46.8%)減の2億24百万円となりました。当四半期純利

益につきましては、固定資産除却等による特別損失が若干減少したものの、前年同期比1億22百万円(51.0%)減の1億17百万円となりました。

現在の当社グループを取り巻く環境は、首都圏空港の発着枠拡大、各空港の整備計画の進展に加え、経済発展の続くアジアをはじめとした訪日需要の拡大、航空各社による国際線の増便・路線開設等を背景に、拡大基調が見込まれます。一方、本邦LCCのシェア拡大等により航空会社間の競争はさらに激化すると予測されます。

このような状況のもと、当社グループは、今後もイベントリスク耐性の高い筋肉質の企業体質を維持しつつ、既存事業の強化・拡大を図ります。また、経営環境の変化に合わせて効果的に経営資源を投入し、新たな事業分野の開拓にも積極的に取り組み、さらなる業績の向上を目指します。こうした経営戦略に則り各種施策を進めると同時に、今後とも変化する経営環境に対応していくため新たな中期事業計画策定の準備を進めており、2014年度中に開示する予定です。

2015年3月期の業績見通しにつきましては、動力事業では、成田空港における大型機から中型機への機種変更

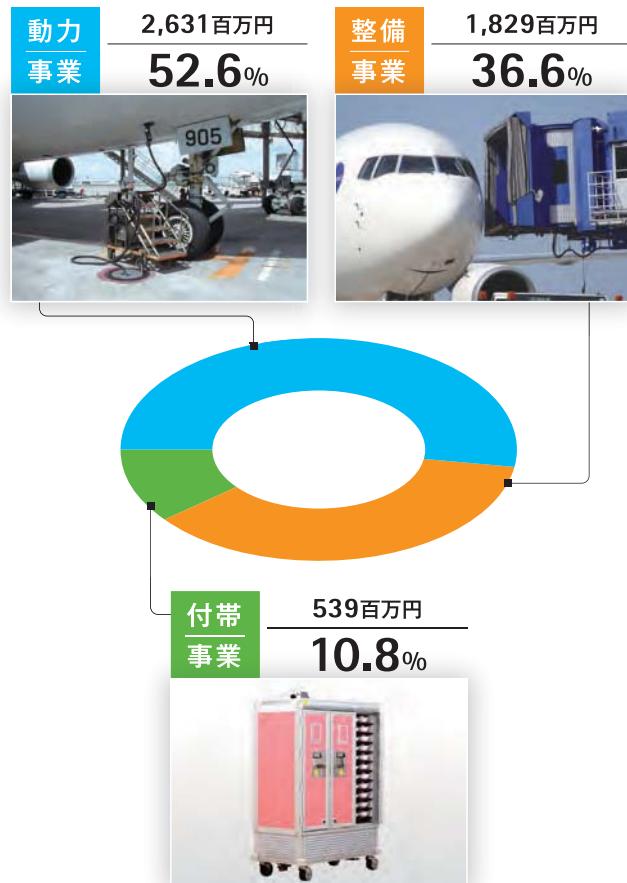
と国際線が羽田空港へ一部シフトされる影響を織り込む一方、羽田空港における国際線地区再拡張による、航空各社の国際線の増便・路線開設に伴う増収を計画しています。整備事業では、羽田空港における新規施設設備保守の受注を予定するものの、空港関連施設に対する大口更新工事の受注が前期並みの規模では見込めないことによる減収を織り込んでいます。付帯事業では、セキュリティ業務は堅調に推移すると見込まれますが、フードカート販売は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減を見込んでいます。

現時点では、各事業の業績が概ね想定した範囲内で推移していることから、期初からの業績予想に変更はなく、売上高は前期比2億37百万円(2.1%)減の110億78百万円、営業利益は前期比2億32百万円(21.5%)減の8億50百万円、経常利益は前期比2億51百万円(23.3%)減の8億26百万円、当期純利益につきましては前期比80百万円(14.2%)減の4億89百万円を見込んでいます。

株主の皆さまには、今後とも格別のご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# ひと目でわかるAGP —事業別概況と今後の取組み—

## ◎セグメント別売上高(連結)



## 動力事業

航空機への動力(電力・冷暖房気・圧搾空気)の供給や、航空機用動力供給設備の設計・施工、運用管理を行っています



GPU固定式：電力

## 整備事業

空港における建物・諸設備の保守・維持管理や、発着支援設備など特殊設備のメンテナンスを行っています



手荷物搬送設備

## 付帯事業

フードカートやGSE (Ground Support Equipment) 関連製品など、航空機の運航に付帯する製品の開発および製作、販売を行っています



EH加熱カート

保温カート

動力事業 セグメント利益(連結)	320百万円 (前年同期比△100百万円)
整備事業 セグメント利益(連結)	201百万円 (前年同期比+13百万円)
付帯事業 セグメント利益(連結)	10百万円 (前年同期比△111百万円)
連結営業利益	229百万円 (前年同期比△181百万円)

## ■ 2015年3月期第2四半期累計期間

**売上高** 26億31百万円 0.5%減 ↓

羽田空港の国際線再拡張に伴い販売機会が増加したものの、国内大手航空会社の電力供給時間減少等により減収

**セグメント利益** 3億20百万円 23.9%減 ↓

羽田空港の国際線再拡張に伴う減価償却費が大きく増加したこと、電力料金の値上げにより原材料費が増加したこと等により減益

## ■ 対処すべき課題

- 設備設置形態や設備仕様の見直しを行い、投資コストの低減を図りつつ、着実な設備投資を実行
- 当社動力設備の使用率向上に向けて、積極的な営業活動の展開による、さらなる事業基盤の強化・拡大
- 地球環境保全への貢献として、国土交通省の提唱するエコエアポート施策にも全社を挙げて積極的に参画
- 関係先との連携強化と航空燃料の消費削減によるCO<sub>2</sub>排出抑制に努める

## ■ 2015年3月期第2四半期累計期間

**売上高** 18億29百万円 2.1%減 ↓

成田空港の航空会社関連施設における大口設備更新作業の受注等が減少したこと等により減収

**セグメント利益** 2億1百万円 7.1%増 ↑

大口設備更新作業の原材料費が減少した一方、役務提供作業が増加したことにより増益

## ■ 対処すべき課題

- 全国カバーのネットワーク、24時間運営体制や総合的施設保守等、当社の強みをアピールした営業戦略と、メーカー等と連携強化により、保守領域を拡大
- 異業種パートナーとの協業により、国内地方空港の運営主体や、アジア地域における空港の新設、拡張計画に対する技術支援への参画

## ■ 2015年3月期第2四半期累計期間

**売上高** 5億39百万円 13.9%減 ↓

各空港における設備・備品販売が増加したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響等により、フードカート販売が大きく減少し減収

**セグメント利益** 10百万円 91.3%減 ↓

売上の減少に伴い原材料費が減少したものの、固定費が増加したことにより減益

## ■ 対処すべき課題

## フードカート事業

- 今後のマーケット動向を見極めたうえで、新たな需要の掘り起こしをはじめとした営業強化による販売促進
- 販売活動やアフターメンテナンスにおいて代理店等の外部リソースも有効活用し、収益力を向上

## 空港セキュリティ機器の保守管理

- メーカー・代理店との連携を強化し、新型セキュリティ機器の導入や更新へ着実に対応、事業を拡大
- 当社グループが保有する技術力の向上と技術サポート拠点の整備により、業務受託体制を強化

## 植物工場事業等新規事業

- 工場の安定稼働と効率的な運営体制の早期構築を図るとともに、植物工場ビジネスに関連したコンサルタント業務や工場内設備の保守管理等の事業領域拡大
- 既存事業で培った技術やノウハウを活用し、空港周辺分野での新規事業領域拡大

## Topics 1

## 植物工場事業が着々と進捗 — 高まるニーズのもと、機能性野菜の出荷を開始 —

新規事業としてスタートした「植物工場事業」につきましては、6月に竣工した千葉県山武郡横芝光町の植物工場において、予定通り8月から、機能性野菜「低カリウムレタス」の出荷を開始いたしました。

低カリウムレタスをはじめとする機能性野菜へのニーズは年々高まっており、現在、フル稼働（4,000株/日）に向けた取り組みを着実に進めています。

また当事業のフランチャイズ本部である会津富士加工（株）では、国内はもちろん香港等アジアでの販促活動も開始しております。



横芝光町植物工場と、  
出荷が始まった低カリウムレタス



## Topics 2

## 病院・福祉設備機器の専門展「HOSPEX Japan 2014」に出展

**HOSPEX** Japan 2014  
The 39th International Healthcare Engineering Exhibition  
ホスペックスジャパン



来場者でにぎわう当社ブース

付帯事業の中核として展開しているフードカート事業は、国産再加熱カートの納入実績で国内No.1を誇るなど、お客さまから高い評価をいただいています。

特に今後の拡大が期待される病院・介護施設向け需要を確実に捉えるため、本年11月、東京ビッグサイトで開催された病院・福祉設備機器の専門展「HOSPEX Japan 2014（第39回ホスペックスジャパン）」に出展いたしました。

当社ブースでは病院食を作りたての温度で保管・配送できる保温・保冷カートなど、フードサービスの作業性向上・合理化に寄与する当社製品を紹介したほか、会場内特設ルームにおいてセミナー「AGPフードカートで美味しい給食を」を開催し、ご来場の皆さまから大きな反響をいただきました。

## 第2四半期貸借対照表

	当四半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	4,725	5,782
現金預金	957	1,660
受取手形	115	1
営業未収入金	1,309	1,944
有価証券	901	1,292
製品	112	109
仕掛品	107	21
貯蔵品	460	440
前払費用	150	94
リース投資資産	381	0
繰延税金資産	64	83
その他の流動資産	164	133
貸倒引当金	0	0
固定資産	6,105	6,496
有形固定資産	4,975	5,391
無形固定資産	86	76
投資その他の資産	1,043	1,028
資産合計	10,830	12,278
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	2,003	3,320
営業未払金	896	1,184
短期借入金	260	260
一年以内返済長期借入金	316	319
一年以内返済リース債務	81	117
未払金	100	876
未払法人税等	89	301
未払費用	229	250
その他の流動負債	31	10
固定負債	2,636	2,762
長期借入金	1,459	1,618
退職給付引当金	1,007	942
リース債務	110	138
資産除去債務	39	39
製品保証引当金	18	24
その他の固定負債	0	0
負債合計	4,640	6,082
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	6,171	6,190
資本金	2,038	2,038
資本剰余金	114	114
利益剰余金	4,018	4,037
自己株式	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	18	6
純資産合計	6,190	6,196
負債純資産合計	10,830	12,278

(単位：百万円)

## 第2四半期損益計算書

	当四半期累計 2014年4月1日～ 2014年9月30日	前四半期累計 2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高	4,874	5,020
売上原価	4,335	4,299
売上総利益	539	721
販売費及び一般管理費	302	319
営業利益	236	401
営業外収益	11	34
受取利息	0	1
受取配当金	3	6
その他の営業外収益	7	27
営業外費用	15	19
支払利息	13	16
リース支払利息	1	2
その他の営業外費用	0	0
経常利益	233	417
特別損失	12	17
固定資産除却損	11	16
減損損失	0	1
固定資産除却費	0	0
税引前四半期純利益	221	399
法人税、住民税及び事業税	81	154
法人税等調整額	4	4
四半期純利益	135	240

(単位：百万円)

# 連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表

	当四半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在		当四半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
<b>1 【資産の部】</b>			<b>2 【負債の部】</b>		
流動資産	4,728	6,109	流動負債	1,647	2,906
現金及び預金	1,325	1,897	営業未払金	451	748
受取手形及び営業未収入金	1,450	1,982	1年内返済予定の長期借入金	316	319
有価証券	901	1,292	未払法人税等	109	311
商品及び製品	112	109	その他	770	1,527
仕掛品	107	21	固定負債	3,445	3,620
原材料及び貯蔵品	472	450	長期借入金	1,459	1,618
その他	358	354	退職給付に係る負債	1,785	1,799
固定資産	6,661	6,711	資産除去債務	69	39
有形固定資産	5,387	5,393	その他	129	163
建物及び構築物(純額)	2,595	2,508	負債合計	5,093	6,526
機械装置及び運搬具(純額)	2,061	2,050	<b>3 【純資産の部】</b>		
その他	730	834	株主資本	6,402	6,438
無形固定資産	87	77	資本金	2,038	2,038
投資その他の資産	1,186	1,239	資本剰余金	114	114
			利益剰余金	4,249	4,285
			自己株式	△ 0	△ 0
			その他の包括利益累計額	△ 105	△ 145
			純資産合計	6,296	6,293
資産合計	11,389	12,820	負債純資産合計	11,389	12,820

(単位：百万円)

### 1：資産

前期末に比べ14億30百万円(11.2%)減少し、113億89百万円になりました。

#### ■流動資産

前期末に比べ13億81百万円減の47億28百万円

- 主な要因- ↑ 棚卸資産が1億9百万円増  
↓ 現金及び預金、受取手形及び営業未収入金、有価証券が14億95百万円減

#### ■固定資産

前期末に比べ49百万円減の66億61百万円

- 主な要因- ↓ 退職給付に係る資産が82百万円減

### 2：負債

前期末に比べ14億33百万円(22.0%)減少し、50億93百万円になりました。

#### ■流動負債・固定負債

- 流動負債は前期末に比べ12億59百万円減の16億47百万円
- 固定負債は前期末に比べ1億74百万円減の34億45百万円
- 主な要因- ↓ 営業未払金、未払金、未払法人税等が12億51百万円減  
↓ 流動負債・固定負債を合算した長期借入金を1億61百万円返済

### 3：純資産

前期末に比べ3百万円(0.1%)増加し、62億96百万円になりました。

#### -主な要因-

- ↑ 退職給付に係る調整累計額が26百万円増
- ↓ 利益剰余金が36百万円減

## 第2四半期連結損益計算書

	当四半期累計	前四半期累計
	2014年4月1日～ 2014年9月30日	2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高	5,000	5,140
売上原価	4,400	4,353
売上総利益	600	786
販売費及び一般管理費	370	376
<b>4</b> 営業利益	229	410
営業外収益	11	31
営業外費用	16	19
<b>4</b> 経常利益	224	422
特別損失	12	17
税金等調整前四半期純利益	212	404
法人税、住民税及び事業税	102	165
法人税等調整額	△7	△1
少数株主損益調整前四半期純利益	117	240
<b>5</b> 四半期純利益	117	240

(単位：百万円)

第2四半期  
連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期累計	前四半期累計
	2014年4月1日～ 2014年9月30日	2013年4月1日～ 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	575	591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△986	△283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350	△423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△762	△115
現金及び現金同等物の期首残高	2,989	3,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,227	3,138

(単位：百万円)

## 4：営業利益・経常利益

- ・減収及び売上原価率の上昇等により、営業利益は44.1%減
- ・経常利益は前年同期に有価証券売却益を計上した反動等から、46.8%減

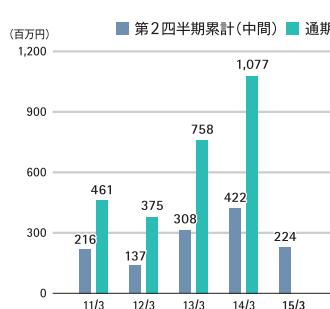
## 5：四半期純利益

- 固定資産除却等による特別損失が若干減少したものの、51.0%減

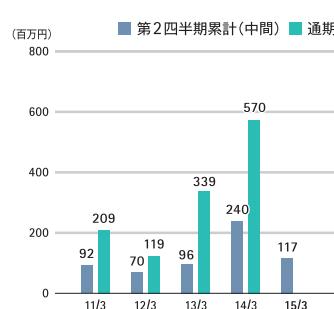
## 売上高



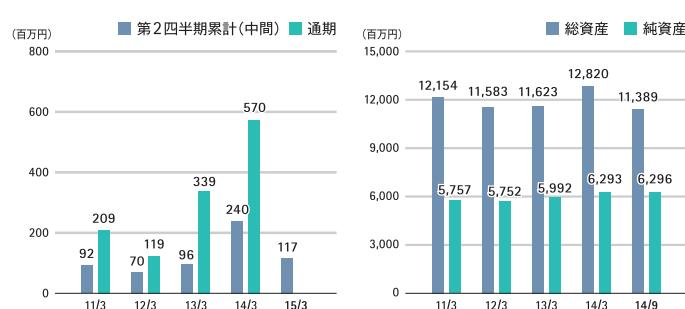
## 経常利益



## 四半期(当期)純利益



## 総資産・純資産



## 株式の状況

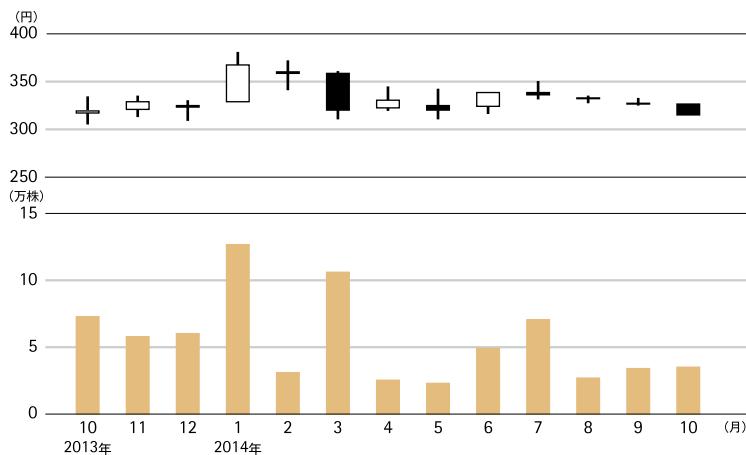
発行可能株式総数	52,000,000 株
発行済株式総数	13,950,000 株
株主数	595 名
単元株式数	1,000 株

## 大株主

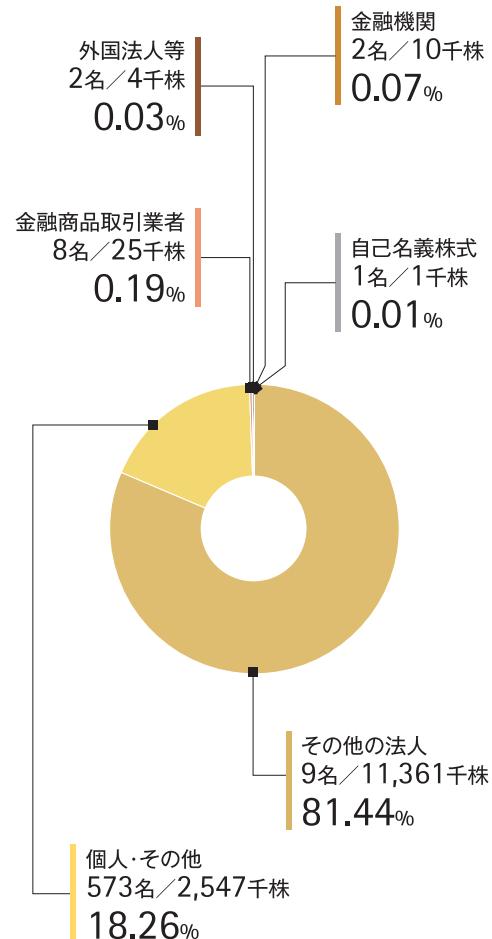
株主名	持株数	持株比率
日本航空株式会社	4,651,000 株	33.34 %
三菱商事株式会社	3,740,000 株	26.81 %
ANAホールディングス株式会社	2,793,000 株	20.02 %
エージーピー社員持株会	455,000 株	3.26 %
城 暎男	102,000 株	0.73 %
栗原工業株式会社	86,000 株	0.61 %
高橋 知子	72,000 株	0.51 %

※持株比率については、自己株式(1,950株)を控除して算出しております。

## 株価及び株式売買高の推移 (月足)



## 株式の分布状況



## 会社概要

商号	株式会社エージーピー AGP CORPORATION
本社	〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707 E-mail info@agpgroup.co.jp
最寄駅	東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分
設立	1965年12月16日 ／日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日 ／株式会社エージーピーに商号変更
資本金	20億3,875万円
社員数	607名(連結)／167名(個別) (2014年9月30日現在)
会計監査人	新日本有限責任監査法人

## 役員

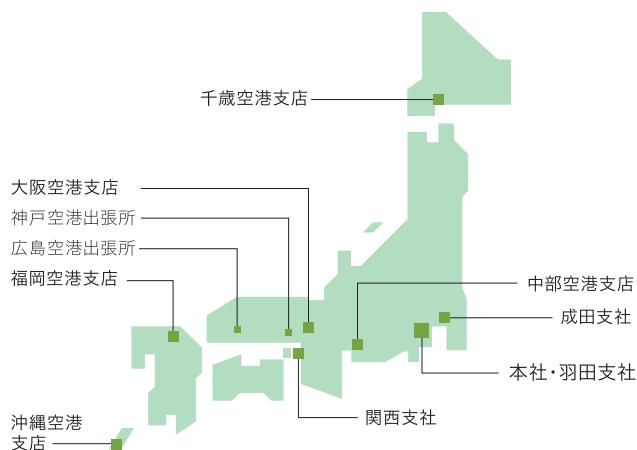
代表取締役社長	山口 栄 一
常務取締役	早川 正 英
常務取締役	生形 茂
常務取締役	小林 正 樹
取締役	村尾 学
取締役	畑山 博 康
常勤監査役	小澤 秀 之
監査役	長谷川 正 人
監査役	浅木 純
監査役	丹治 康 夫

## エージーピーグループ(連結子会社)

株式会社エージーピー沖繩	株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー関西	株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー九州	株式会社エージーピー中部
株式会社エージーピーアグリテック	

## ネットワーク

本社	- 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707
成田支店	- 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1 (日本航空成田第一ハンガー内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779
羽田支店	- 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191
関西支店	- 大阪府泉南市泉州空港南1番地 (関西国際空港格納庫内) TEL.072-456-6101 FAX.072-456-6107
千歳空港支店	- 北海道千歳市美々 (新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213
中部空港支店	- 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地 (中部国際空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165
大阪空港支店	- 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地 (大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490
神戸空港出張所	- 兵庫県神戸市中央区神戸空港 4-1 TEL.080-5075-5932
福岡空港支店	- 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地 (福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974
広島空港出張所	- 広島県三原市本郷町善入寺64番31 (広島空港内) TEL.0848-60-8311
沖縄空港支店	- 沖縄県那覇市鏡水150番地 (那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229



## ホームページのご紹介

» <http://www.agpgroup.co.jp/>

当社ホームページでは、会社概要、IR情報、製品・サービスや採用情報など様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、決算短信、IRハンドブック等のほか、最新のIRニュースや株価情報なども掲載しております。ぜひご覧ください。また皆さまのご意見・ご要望もお待ちしております。



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
同総会権利行使株主確定日	3月31日
利益配当金支払株主確定日	3月31日
基準日	毎年3月31日 そのほか臨時に必要なときは、 あらかじめ公告いたします。
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (同送付先)	同社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話:0120-232-711 (通話料無料)

### ご注意

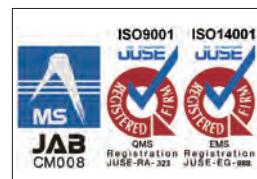
- 1.株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ご案内

- 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。  
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。  
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。  
○本ご案内は平成26年9月時点の情報をもとに作成しております。



〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号  
TEL. 03-3747-1631 FAX. 03-3747-0707  
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail: [info@agpgroup.co.jp](mailto:info@agpgroup.co.jp)



本冊子はリサイクルペーパーを使用しております。